

第2次北杜市障害者計画策定委員会（第4回）議事録

(1) 会議名

第2次北杜市障害者計画策定委員会（第4回）

(2) 開催日時

平成25年3月14日（木）

午後1時30分～午後2時40分

(3) 開催場所

市役所西館特別会議室

(4) 出席者（会長1名、委員8名、事務局8名 計17名）

委員：浅川敏郎、小泉晃彦、小松二三子、里見達也、出口幸英、藤巻 努、三沢 聡、
山田力三会長、吉村真弓

事務局：原福祉部長、米田福祉課長、三井健康増進課保健指導担当リーダー、堀田企画課
企画担当リーダー、津金福祉課障害福祉担当リーダー、障害者総合支援センター
志村、福祉課障害福祉担当竹内（株）ジャパンインターナショナル総合研究所小島

(5) 議題

- ① パブリックコメントの結果報告について
- ② 第2次北杜市障害者計画最終案について

(6) 公開・非公開の理由

公開

(7) 傍聴人の数

なし

(8) 審議内容

1 開会のことば

（課長）

2 議事録署名人選出

（議長）議事録は、2名以上の署名を得ることとされている。第4回は、三沢委員及び吉村委員にお願いしてもよろしいか。

（委員）異議なし。

3 議事

- ① パブリックコメントの結果報告について

（事務局）パブリックコメントの結果報告について説明

（議長）質問はあるか。

（委員）②の意見に対する市の考え方に「今後、地域全体で支援が行えるような、地域包括ケアの体制を進めていきます。」とあるが、今、高齢者分野では、地域を区や組、小学校区、中学校区など幾つかの階層に分けて、そのなかで体制を構築していると思う。市では、障害者分野で

の地域包括ケアについて取組はあるか。また、今後、行う予定があるか。

(事務局) 地域包括ケアについては、現在、障害福祉分野では取組がない。今後は広げていく必要があると考えている。

(委員) ②の「希望者すべてを受け入れられるような規模の施設」とは、障害者総合支援法の附帯決議のなかにある小規模入所施設のようなものと思われ、内容が定まっていない状態である。この辺は居住サービスの体系づくりということで変わってくるのではないかと思う。公共の建物を改修して設置することが可能かなど、幾つか基準が出てくると思うので、注目しておいてほしい。

(事務局) 障害者総合支援法の附帯決議のなかで、小規模入所施設について触れられており、大体20人程度の施設になるとの話もあるが、グループホームとこれまでの入所施設の中間に位置するものだと思っている。地域の生活とケアが必要な方の中間的な位置づけになり、具体的な案が見えてくれば活用したいと思う。市がどこまで関われるかという問題があると思うが、注視していきたいと思う。

(委員) 3ページの⑥に「国等の動向に先行して、北杜市独自の計画・整備を進めてほしい。」という意見が出ているので、この件も含めて進めてほしい。

② 第2次北杜市障害者計画最終案について

(事務局) 第2次北杜市障害者計画最終案について説明。

(議長) 質問はあるか。

(委員) 29、30ページの「(3) 福祉に関する理解促進」について、次年度から地域生活支援事業の必須事業のなかに「地域の住民への理解や促進」が加わるが、一般住民へアプローチするような項目を具体的な取組に加えられないか。

(事務局) 新たに「8-3」として取組を設けるということか。

(委員) そのとおり。一般住民への啓発を加えてほしい。

(事務局) 例えば、自立支援協議会での研修を一般住民にも呼びかけていくということか。

(委員) そのとおり。

(事務局) 1項目追加する。

(委員) 21ページの「課題」のところに、「就学前から就学期までに関連する機関・団体で情報共有を行うことにより」とあるが、市内の児童デイサービス事業所2か所に掛け合い、「サポートノート」を共有しようという動きになっている。サポートノートは親御さんが持っていただくもので、カルテ代わりになる。今後、このサポートノートを活用していく方向で、計画に入れたらどうかと思う。

22ページの5-1「個別指導計画」と書かれているが、「個別支援計画」ではないか。支援計画は外部との情報共有、指導計画は園や学校だけの指導に対する計画なので質が異なる。就学時から就学後も含めて勉強していくということであるので、「個別支援計画に活かし」と訂正してほしい。

5-3「通常の学級において、発育・発達が気になる子どもへの適切な支援」のところは、インクルーシブという言葉が文言として出てくる部分だと思うので、「通常の学級において、インクルーシブな教育をめざし、発育・発達が気になる子どもへの適切な支援」とした方が良い。

(事務局) サポートノートについては、例示という形で修正する。

「個別指導計画」は「個別支援計画」の誤りではないかというご指摘については、再度、確認し修正する。

インクルーシブな教育を目指すという点について、教育総務課と協議させていただく。

(委員) 32 ページの「計画の推進体制」について、「計画」「実行」「評価」「見直し」ということで図示されているが、評価についての文言が記載されていない。可能であれば評価の文章も入れてほしい。

(事務局) ご指摘のとおり修正する。

(委員) 17 ページ、3-1「公営住宅のバリアフリー化の推進」について、何年か前に、空いている公営住宅を障害者施設に整備し活用するという行政通達が出ている。市でそのような計画があれば、取組に加えてほしい。

(事務局) 通知文書を確認し、取組に追加できるものがあれば、調整したいと思う。

(委員) 20 ページの3-2「グループホームの整備促進」については、小規模入所施設のこともあるので、取組内容の文章も含め「グループホーム等の整備促進」というように、記載してほしい。

(事務局) ご指摘のとおり修正する。

(議長) 他に意見・質問なければ、今回、指摘のあった箇所を事務局で修正し、それを本策定委員会として、市長あてに提出することとしてよいか。

(委員) 意義なし。

(議長) 昨年8月から4回にわたり議論し、今回、計画を取りまとめることができた。委員各位には感謝する。

(委員) 今回、第2次北杜市障害者計画を無事にまとめることができ、一委員として本意に思っている。これからどのような形で計画を進めていくのか、今後のことも見据えて考えてきたが、おそらく修正が出てくるだろうと思う。その辺を踏まえながら、今後もこの北杜市の障害者計画に携わっていきたい。

(議長) ありがとうございます。それではこれで策定委員会を終了する。

4 閉会のことば

(課長)

(閉会)

以上

会議録署名委員 三沢 聡

会議録署名委員 吉村 真弓